

第82回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

■ 日時：平成30年6月4日（月）15：05～15：15

■ 場所：第1特別委員会室（本庁舎2階）

【島副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。
早速、議題1の「国への提案・要望」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

4月の本部会議においてお示しした「原子力発電所事故への対応」、「避難地域・浜通りの復興再生」など5つの視点に基づき、今週7日に国への提案・要望活動を予定しています。

7日当日の朝には、県選出国会議員の皆さんへの説明を行った後、知事から引き続き、政党、関係省庁に対し、終日、要望活動を行う予定でございます。

資料1をご覧ください。

8つの柱立てに基づく要望39項目を整理した一覧表です。

主な要望項目として、Ⅰ「全般的事項」では、復興が成し遂げられるまでの間の、十分な財源や体制の確保、Ⅱ「避難地域・浜通りの復興再生」では、避難地域や帰還困難区域の復興・再生のための生活環境整備、Ⅲ「福島イノベーション・コースト構想の推進・新産業の創出」では、構想の更なる推進のほか、福島新エネ社会構想の実現、Ⅳ「原子力発電所事故への対応」では、廃炉・汚染水対策や除染の推進、Ⅴ「風評払拭・風化防止対策の強化」では、農林水産物や観光、教育旅行に対する風評対策の強化、Ⅵ「県民の健康と安全・安心を守る取組」では、避難者支援の充実や、復興に必要な教育支援など、Ⅶ「産業再生・インフラ整備」では、県全体の復興・創生を底上げする取組への支援、Ⅷ「地方創生及びオリンピック・パラリンピック」では、地方創生や東京オリンピック・パラリンピックにおける県の取組を推進するための支援などについて求めるものであります。

その他、詳細については、資料のとおりとなっております。

8月の概算要求に向け、政府予算対策は大詰めを迎えております。

知事を筆頭に、国との交渉を粘り強く重ね、具体的な成果が得られるよう、全庁を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

説明は以上です。

【畠副知事】

今の説明に関して、意見はありませんか。なければ、原案のとおり決定することといたします。

知事からお願いいたします。

【知事】

平成31年度は復興・創生期間の4年目になります。

今、私たちは、復興計画、あるいは総合計画という県の大切な計画を持っています。

その中に、色々な理念、計画、プロジェクトが掲げられていますが、これを実現するために大切なことは、財源の確保です。

どのような理念、あるいはどのような計画を持っていても、財源がない限りその計画やプロジェクトを実行することはできません。

これから平成31年度の国の予算に向けて、今、企画調整部長から説明のあった39項目について、政府に対する要請活動をスタートします。

39項目すべてが重要な施策です。県民の期待、県民の希望に応えるためにも、是非、それぞれの項目で財源を確保して、新年度において、事業を遂行することができるよう、県が一丸となって取り組んでいかななくてはなりません。

私も先頭に立って政府との対応を始めますが、是非、皆さん一人一人も各部署のトップとして、それぞれの職員の思いも込め、また、県民の期待に応えるためにも、国との協議を丁寧に進めてください。

【畠副知事】

次に、報告事項「財務事務の適正化」について、総務部長。

【総務部長】

資料2をご覧ください。

財務事務の適正化についてであります。重点事業について、平成29年度の予算執行状況の確認を行いました。

重点事業の執行率は約93%となっております。平成28年度は96%でしたが、これは、公共事業において用地交渉等に不測の日数を要したことなどによるものでございます。

引き続き30年度も各部局における自己点検の徹底を図るとともに、出納局とも一層の連携を図りながら、財務事務の適正化に努めてまいります。

【島副知事】

今の説明に関して、何かありますか。

以上で推進本部会議を閉じます。